

【様式】

# 令和3年度 武生東高等学校 学校関係者評価書

(問)

- ① スクールプランの重点目標についての成果と分析内容は適切ですか。
- ② 成果と課題を踏まえた令和4年度に向けた改善策・向上策は適切ですか。

(意見を聞いた方)

先織 大悟 P T A 会長  
田口 聖 P T A 副会長

(意見欄)

重点目標1：教育課程・学習支援

- ① 適切である。
- ② タブレット、ポートフォリオを活用して、より主体的なかつ学習意欲の向上につなげてほしい。  
タブレットの活用不足は、生徒自身の情報リテラシー不足も重要な要因である。Hino-Questなどの武生東高校ならではの授業を活用して、基本的な情報リテラシーを構築できるように工夫して欲しい。

重点目標2：進路支援

- ① 適切である。
- ② 大学の先生や外部講師を招いての講話は、子供たちの夢への計画を立てるためには非常にいいことなので継続・強化をしてほしい。  
将来「何をしたい」という目標を立て、その理想像から具体的な進路を決めていくような進路指導体制が3年間を通じて行われておりありがたかった。「何をしたい」⇒「○○大学」との目標が明確になり、学習に対するモチベーションを維持することができたし、第1志望がかなわなくても、「何をしたい」との目的が明確なため第2志望に対しても希望を持って取り組むことができている。  
全体として、適切な生徒の意欲を引き出す進路指導が行われているものの、現2年生の進路に対する意識が低いのはたいへん気になる場所である。  
Hino-Questは非常に運営の難しい教育活動だとは思いますが、生徒自身が地域社会や仕事をより理解する絶好の機会となる有意義な授業である。地元大学との連携以外にも、企業や自治体との連携をより深めて欲しい。

重点目標3：生徒支援

- ① 適切である。
- ② 「生徒の主体性を引き出す」ことの難しさはP T Aとして学校祭支援を行っていく過程でも感じた部分である。コロナ禍で様々な制約をかけられることがあまりにも多く、主体的に動くチャンスを摘み取ってしまった可能性もある。状況が許すのであれば、ゼロベースで生徒と向き合い、声を紡ぐ場を持っていただきたい。  
生徒会活動の活発化により、自身で運営することの難しさや、みんなが平等に幸せになる(学校を楽しむ)ことを考える力を養ってほしいとの願いを親としては持っているが、現2年生の評価が低いのは大変気になる場所である。フォローの強化をお願いしたい。  
自助共助の意識を醸成するための諸活動は、教職員が負担するだけでなく、外部資源(地域の防災士や地元自治体との連携)を有効活用することも検討した方が良いのではないかと。

#### 重点目標４：グローバル・SDGs

①適切である。

②異文化交流やSDGsは今後の人生において大変重要なことになるはずである。更なる強化で社会に貢献できる人材の育成に努めてほしい。

今年度開催した高校生国際会議(WHF)は、非常に素晴らしい取り組みでありぜひ今後とも継続していただきたい。この活動は、単に国際科や英語科の一活動として捉えるのではなく、異文化交流・相互理解の貴重な実践の場である。今後は中学校や他校との連携を深め、日本語版での運営があっても面白いのではないだろうか。

#### 重点目標５：外部との連携

①適切である。

②ホームページの充実は、学校の様子をいち早く知る手段としては保護者としてうれしいこと。子供たち自身での更新などがあると、子供たちの生の声が聞けて非常に面白いと思う。

HP更新の頻度が非常に高く興味を持って拝見している。ただ、担当教員の業務負担が心配であり、生徒を活用した更新・発信のシステムを構築できれば負担軽減を図れるのではないかと。

Hino・QuestおよびWHFの運営にも外部の協力が不可欠なはずであり、もっとPTAを活用していただければありがたい。

(学校関係者評価を踏まえた今後について)

子ども達がこの武生東高校での生活で大きく成長したことは紛れもない事実。東高校にお世話になって本当に良かったと思っている。

今回のアンケート結果を拝見し、教員と生徒の満足度の資料が非常に興味深かった。項目によっては差が開いているのもあるので、今後は差を無くし、教員・生徒が同じ目標に向かうことが学校の更なる魅力につながると思う。